

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

愛媛県立松山北高等学校中島分校

学校番号 23

評価実施日		平成24年2月10日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	勝田 昇	元中島町教育委員会教育長	
	田口 栄子	福祉介護事業経営	
	山本 祥平	自営業(農業)、元中島町消防団長	
	齊藤 照夫	松山市立中島中学校長	
	脇田 忠雄	P T A会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p><b>1 今年度の最終評価について</b></p> <p>(1) 生徒指導</p> <p>ア 船通学のマナーが良い。車椅子の人が船に乗ったときに女子高校生が話しかけてくれたので不安な気持ちにならなかったと聞いた。</p> <p>イ 中島の港や町なかで見かける高校生は、節度あるマナーが保たれている。</p> <p>ウ 中島のような都会と田舎の交わる場所では、今は問題がなくても、一方では常に生徒指導面で生徒一人一人に気を配っておくことは必要である。</p> <p>(2) 進路指導</p> <p>ア 近年の進学実績を見ると、愛媛大学や松山大学にも進学している。これはもっと地域にアピールしてもよいのではないか。</p> <p>(3) 施設・設備</p> <p>ア 芝の校庭が、月一回の全校生徒による芝生作業できれいに整備されていることは、身近な環境を自分の手で整えるという、大切な教育活動である。</p> <p><b>2 学校評価アンケート結果について</b></p> <p>(1) 生徒、保護者、教職員による学校評価の中で、「特色ある学校づくり」に関する項目の評価が最上位にきていることは、評価できる。</p> <p>(2) 生徒による学校評価の中で、「悩みに対する対応」の評価が低いことについて、一人一人に対応した相談体制を考える必要がある。</p> <p>(3) 生徒による学校評価の中で、「基本的な生徒指導が行われている」という項目の評価は比較的高いが、「生活指導方針に納得できる」という項目の評価が低い。これについては、生徒の発達段階を踏まえれば成長の過程でむしろ必要なことであると考えてよい。</p> <p>(4) 生徒による学校評価の中で、「清掃状況と備品整備」に関する項目の評価が低いことに対して、何らかの対応策が必要である。</p> <p>(5) 学校評価の説明資料に、昨年度の数字を入れて経年比較ができるようにするとよい。</p> <p><b>3 重点目標について</b></p> <p>(1) 重点目標の用語について、定義をはっきりさせてより明確な目標とする必要がある。</p>	<p>・生徒による自己評価(5段階平均)で、「あいさつができています」が3.8、「マナーが守れている」が4.2となっている。今回はよい評価をいただき、また今年度は生徒指導上の特別指導もなかったが、今後はさらに全教職員の共通理解を一層図り、小さな兆候を見逃さず、日々の生徒指導に努める。</p> <p>・中学校訪問、高校見学説明会、中学校での学校説明会、中高連絡協議会やホームページ等を通じて、タイムリーな情報発信を継続して行う。</p> <p>・月一回の芝生作業を継続し、体を動かすことをいとわずまじめに作業する本校生のよさを、より一層伸ばしていきたい。</p> <p>・自然豊かな地域の中で体験教育を重視する本校の特徴を、今後も継続したい。</p> <p>・生徒による自己評価で、教育相談に関する項目が2.8であったことは、教職員による学校評価の同項目が比較的高かったことと合わせて、もう一度謙虚に見直す必要がある。学年団と養護教諭による教育相談体制が、温かく包む場面と厳しく鍛える場面を、適切に見分けて指導しているかどうかを日々検証する必要がある。</p> <p>・本校生徒は、清掃活動に対しては非常にまじめに取り組む。今後も古い校舎なりに極力清潔さを維持し、必要な備品を整備したい。</p> <p>・来年度から、指摘の通りにしたい。</p> <p>・来年度から、指摘の通りもう一度用語を検討し直し、適切な目標を設定する。</p>